

情報連絡員総括表（2019年10月）

－ 静岡県中小企業団体中央会 －

本書は、静岡県中小企業団体中央会が委嘱した情報連絡員〔協同組合等の役職員 60 名〕による毎月の景況調査の集計結果です。

1. 概況報告
2. 項目別の前月・今月のDI値の比較
3. 情報連絡員からの報告
4. 主要三指標におけるDI値の推移（グラフ）

◎売上高等の9項目につき **前年同月と比較し**、好転・不変・悪化 のいずれかを回答

$$DI \text{ 値} = [(\text{好転組合数} - \text{悪化組合数}) / \text{調査対象組合数}] \times 100$$

※全項目が前年同月比「不変」となった場合は、DI値は基準値 ±0.0 (=横ばい) で推移
 ※「在庫数量」のみ、プラス値が高いほどマイナス要因と定義

1. 概況報告 （回答者数 60 名：回収率 100%）

○2019年10月のDI値は、前月との比較において「販売価格」と「取引条件」を除く7指標において悪化する結果となった。前月同様「在庫数量」「販売価格」以外は基準値を大きく下回っている。

○「製造業」では、前月との比較において、「売上高」「業界の景況」を含む4指標が悪化、「収益状況」を含む5指標が改善する結果となった。
 米中貿易摩擦の影響が大きいとのコメントが寄せられている。

○「非製造業」では、前月との比較において、「取引条件」を除く7指標が悪化する結果となった。
 消費増税に加え、台風の影響を大きく受け、各指標で大きく悪化している。

(DI値)

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
2019年10月	-40.0	-11.6	6.7	-6.7	-40.0	-15.0	-33.4	-23.3	-43.3
2019年9月	-23.3	-11.7	6.6	-13.4	-31.6	-10.0	-30.0	-20.0	-31.6
増減	-16.7 ↓	0.1 ↓	0.1 ↑	6.7 ↑	-8.4 ↓	-5.0 ↓	-3.4 ↓	-3.3 ↓	-11.7 ↓

2. 項目別の前月・今月のDI値の比較

		製造業				非製造業				全体			
		DI値		増減		DI値		増減		DI値		増減	
売上高	2019年10月	-40.0	-10.0 ポイント	↓	-40.0	-23.3 ポイント	↓	-40.0	-16.7 ポイント	↓			
	2019年9月	-30.0			-16.7			-23.3					
在庫数量	2019年10月	-13.3	-13.3 ポイント	↑	-7.7	30.8 ポイント	↓	-11.6	0.1 ポイント	↓			
	2019年9月	0.0			-38.5			-11.7					
販売価格	2019年10月	10.0	3.3 ポイント	↑	3.3	-3.4 ポイント	↓	6.7	0.1 ポイント	↑			
	2019年9月	6.7			6.7			6.6					
取引条件	2019年10月	0.0	6.6 ポイント	↑	-13.4	6.6 ポイント	↑	-6.7	6.7 ポイント	↑			
	2019年9月	-6.6			-20.0			-13.4					
収益状況	2019年10月	-43.3	3.4 ポイント	↑	-36.6	-19.9 ポイント	↓	-40.0	-8.4 ポイント	↓			
	2019年9月	-46.7			-16.7			-31.6					
資金繰り	2019年10月	-6.6	6.8 ポイント	↑	-23.3	-16.7 ポイント	↓	-15.0	-5.0 ポイント	↓			
	2019年9月	-13.4			-6.6			-10.0					
設備操業度	2019年10月	-33.4	-3.4 ポイント	↓					-33.4	-3.4 ポイント	↓		
	2019年9月	-30.0							-30.0				
雇用人員	2019年10月	-23.3	-3.3 ポイント	↓	-23.4	-3.4 ポイント	↓	-23.3	-3.3 ポイント	↓			
	2019年9月	-20.0			-20.0			-20.0					
業界の景況	2019年10月	-46.7	-3.3 ポイント	↓	-40.0	-20.0 ポイント	↓	-43.3	-11.7 ポイント	↓			
	2019年9月	-43.4			-20.0			-31.6					

今月の業種別回答件数

		売上高		在庫数量		販売価格		取引条件		収益状況		資金繰り		設備操業度		雇用人員		業界の景況	
		増加	減少	増加	減少	上昇	悪化	好転	悪化	好転	悪化	好転	悪化	上昇	悪化	増加	減少	好転	悪化
製造業	食料品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1
	繊維工業	0	2	1	0	0	0	0	1	0	3	0	1	0	2	1	1	0	2
	木材・木製品	0	2	0	0	1	1	0	1	1	1	0	1	0	2	1	2	0	1
	紙・紙加工品	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	印刷	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1
	窯業・土石製品	1	2	0	1	1	0	1	0	1	2	1	0	0	0	0	1	0	1
	鉄鋼・金属工業	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	1
	一般機器	0	2	0	1	0	0	0	0	0	3	0	1	0	2	0	1	0	4
	電気機器	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
	輸送用機器	1	3	1	2	1	0	0	0	0	4	1	0	1	1	0	2	0	3
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
非製造業	卸売業	0	2	0	1	0	1	0	1	0	2	0	1			0	1	0	2
	小売業	0	4	1	1	2	1	0	1	0	4	0	4			0	2	0	4
	商店街	0	3	1	1	0	1	0	0	0	3	0	2			1	0	0	4
	サービス業	2	2			0	1	0	1	2	2	1	1			0	2	1	2
	建設業	0	2			1	1	0	1	0	1	0	1			0	1	0	2
運輸業	1	2			3	0	1	1	0	1	1	0	0	1	1	2			

3.情報連絡員からの報告

製造業

水産食料品	<ul style="list-style-type: none"> ・ 台風の影響もあり荷動きが鈍かった。
織物業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消費増税に伴う店頭消費の低迷が影響しているのか、非常に厳しい状況。 ・ 前月と同様に受注は減少し、得意先の間仕掛在庫が多く停滞している。
宗教用具	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前年同月では売上減少しているが、ここ7ヶ月間のトータルでは5%増加した。 ・ 原材料の値上がり気になっている。
木材・木製品	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国的な住宅着工指数等を見ると、持ち家が6月をピークに減少傾向。2019年度上半期の総着工数も5%減であった。 ・ 台風などの自然災害により着工が遅れる地域もでていいる中、当組合は前年比でみてもほぼ不変であり堅調に推移している。
パルプ・紙・紙加工品	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9月の増税前の特需から10月は反動で落ち込むかと予測したが、メーカーではそれほど生産が減少していないようである。今後繁忙期へ向けて在庫を戻していると思われる。
印刷・同関連業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 材料・資材等全て値上がりしている中、同業他社が印刷物件の受注が少ないので、見積価格を安価で提示して競争している。
セメント・同製品	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前年同月比で24%出荷量がアップした。車両不足のため、需要者に迷惑をかけているこの状況は年末まで続くと思われる。
金属製品	<ul style="list-style-type: none"> ・ 売上が対前年同月比で9.2%減少している。 ・ 雇用に改善が見られる。 ・ 売上高及び収益状況で一部改善傾向がある。
生産用機械器具	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10月になり生産(受注)が目に見えて減少、今月は赤字に落ち込んだ。アメリカ・中国・韓国の関係が原因と思われる。 ・ 親会社の受注が減少した。前年同月が好調だっただけに減少が目立つ。(工作機械業界は2017~18年にかけて空前の好況に沸いていた。18年の受注額は過去最高を記録した) ・ 設備投資先送り感が強く、受注が急激に落ち込んでいる。来期を見据えるとリーマンショックに近いものがあるのではと懸念を示す経営者もいる。
電気機械器具	<ul style="list-style-type: none"> ・ 猛暑による販売が好調だった昨年と比較すると、ルームエアコンの生産は減少したが、例年比較では高水準で推移している。 ・ 冷蔵庫は消費増税による需要増加の影響により生産は増加した。業務用エアコンは引き続き販売が好調であり、生産は増加した。
輸送用機械器具	<ul style="list-style-type: none"> ・ 組合員企業の売上平均値は、本年4月から6ヶ月連続で減少し続けている。 ・ 米中貿易摩擦の影響で、中国から米国に輸出している自動車関連企業が打撃を受け、企業間格差が拡大している。 ・ 生産量は前月と比較すると増加してきたが、まだ前年並みとまではいかない状況。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取引先企業の外資系化に伴い関連企業の整理統合が進みつつある。 ・ 組合員個々で売上高の増減があるものの、全体的には大きな変化は見られない。ただし、資材の調達先で海外との競合化が進み、結果コスト低減の要請が厳しくなりつつある。 ・ 組合員各社で人材不足の為生産に支障をきたし納期に苦慮する、あるいは新たな発注に対して応じきれないケースも散見される。

非製造業

セメント卸売業	<ul style="list-style-type: none"> 10月の出荷量は、前年同期比20%以上の大幅な減少となり、6ヶ月連続で前年実績を下回っている。 袋セメント市場の縮小に歯止めがかからず、依然として厳しい環境が続いている。
機械器具小売業	<ul style="list-style-type: none"> 予測通り消費増税の影響で著しく景況が悪化した。 組合員の高齢化が進み重い商品等の運搬に苦勞しているため、組合員に協業活動についてアンケート調査を実施した。結果を踏まえ、高所作業や、重量商品についてはクレーン業者と契約することとした。
鮮魚小売業	<ul style="list-style-type: none"> 天候の影響等により来客数が落ち込み厳しい状況であった。
各種商品小売業	<ul style="list-style-type: none"> 消費増税による売上げの減少があった。 組合員が講師となって行う「ミニ講座」イベントが終了した。沢山の方が参加されお店を知ってもらえた。 ハロウィン企画では10/26-27の2日間で2千人以上の来場があった。
各種商品小売業	<ul style="list-style-type: none"> 好調だった9月末の増税前セールスの反動と、台風による休業等でかなり景況が悪かった。
不動産取引業	<ul style="list-style-type: none"> 売主サイドが価格の交渉に応じてくれることが多くなり取引がまとまりやすくなった。 買い主に法人が目立つようになってきた。個人の住宅需要は相変わらず低迷している。
宿泊業	<ul style="list-style-type: none"> 台風19号の影響により宿泊キャンセル約1700件(6,000人)が組合加盟施設で発生し売上減少となった。結果的に災害被害は少なかったが、テレビ等マスコミの注意喚起ニュースにより事前の宿泊キャンセルが集中した。
情報サービス業	<ul style="list-style-type: none"> 仕事量が増加し、作業員が大幅に不足している状況。
総合工事業	<ul style="list-style-type: none"> 事務局が台風19号により1m近く浸水したため、国家資格技能者講習は実施日を1日順延させ、普段スリッパ使用の教室を土足仕様に切り替える等してなんとか開催した。被害を受けて20日程経った今、少し改善してきた。 協力会社の職人不足の為、工期内完了が危ぶまれる。 民間の建築工事は、年末に向けての仕事が多く発注されていることに加え、台風19号の復旧工事もあり繁忙状態が続いている。
職別工事業	<ul style="list-style-type: none"> 東部地区＝関東地区のオリンピック需要の落ち着きから、顕著に空きが出ている。 中部地区＝大型物件が見当たらず、繁閑の差が出てきている。 西部地区＝新規着工が遅れている企業に空きが見られるが、概ね人手が足りない状況が続いている。ただ、年末、年度末に向けて手持ちの工事はある模様で、一時的な低迷とみている。
道路貨物運送業	<ul style="list-style-type: none"> 9月の消費増税前の駆け込み需要増加の反動により、今月は荷物状況が減少した。 自然災害の影響でコンテナ輸送が制限され運賃が高値を維持しているせいか、月末も荷動きは低調であった。
道路旅客運送業	<ul style="list-style-type: none"> 10月より消費税率変更に伴い運賃を改定した結果、売上高が減少した。

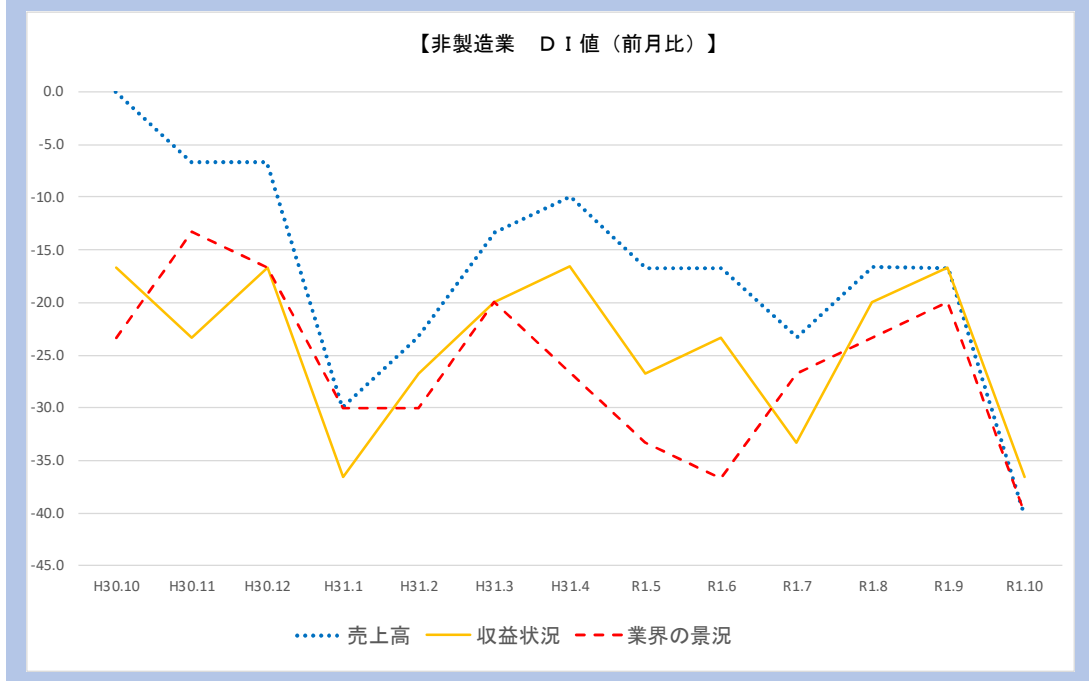
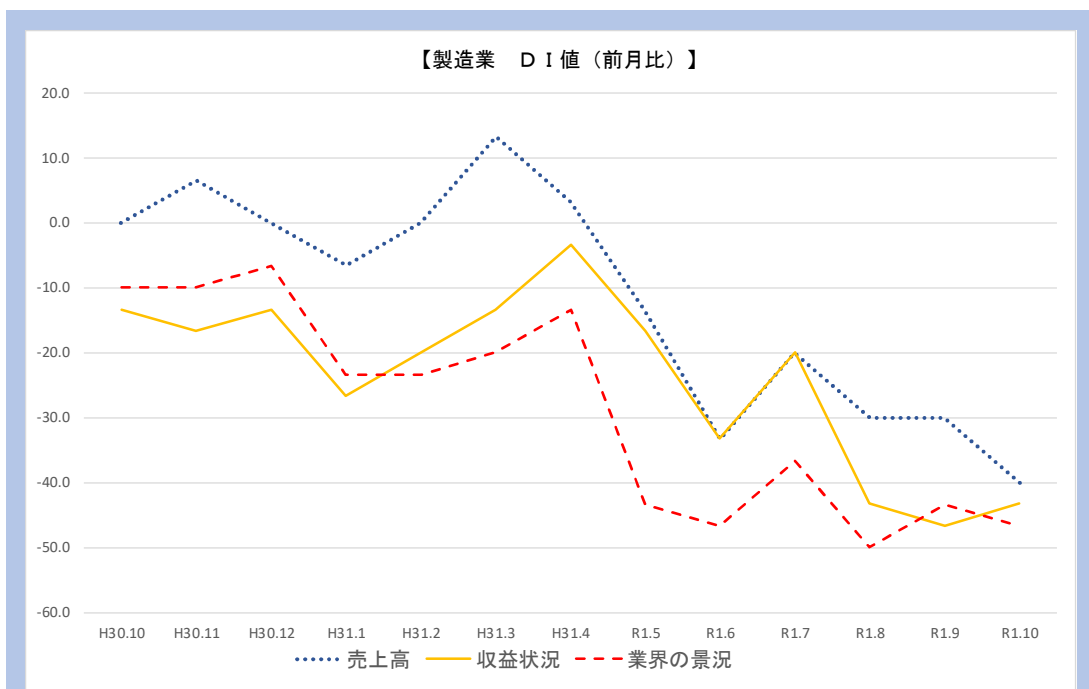
4. 主要三指標における DI 値の推移

■2018年10月期～2019年10月期までの推移

全体	H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10
売上高	0.0	0.0	-3.3	-18.4	-11.6	0.0	-3.3	-15.0	-25.0	-21.7	-23.4	-23.3	-40.0
収益状況	-15.0	-20.0	-15.0	-31.7	-23.4	-16.7	-10.0	-21.7	-28.3	-26.6	-31.7	-31.6	-40.0
業界の景況	-16.7	-11.7	-11.7	-26.7	-26.7	-20.0	-20.0	-38.3	-41.6	-31.7	-36.7	-31.6	-43.3

製造業	H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10
売上高	0.0	6.6	0.0	-6.6	0.0	13.3	3.3	-13.4	-33.3	-20.0	-30.0	-30.0	-40.0
収益状況	-13.3	-16.7	-13.3	-26.7	-20.0	-13.4	-3.3	-16.7	-33.3	-20.0	-43.3	-46.7	-43.3
業界の景況	-10.0	-10.0	-6.7	-23.3	-23.3	-20.0	-13.3	-43.4	-46.7	-36.7	-50.0	-43.4	-46.7

非製造業	H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10
売上高	0.0	-6.7	-6.7	-30.0	-23.3	-13.3	-10.0	-16.7	-16.7	-23.3	-16.6	-16.7	-40.0
収益状況	-16.7	-23.3	-16.7	-36.6	-26.7	-20.0	-16.6	-26.7	-23.3	-33.3	-20.0	-16.7	-36.6
業界の景況	-23.3	-13.3	-16.7	-30.0	-30.0	-20.0	-26.6	-33.3	-36.7	-26.7	-23.4	-20.0	-40.0



■2018年10月期～2019年10月期までの推移

売上高	H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10
製造業	0.0	6.6	0.0	-6.6	0.0	13.3	3.3	-13.4	-33.3	-20.0	-30.0	-30.0	-40.0
非製造業	0.0	-6.7	-6.7	-30.0	-23.3	-13.3	-10.0	-16.7	-16.7	-23.3	-16.6	-16.7	-40.0

収益状況	H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10
製造業	-13.3	-16.7	-13.3	-26.7	-20.0	-13.4	-3.3	-16.7	-33.3	-20.0	-43.3	-46.7	-43.3
非製造業	-16.7	-23.3	-16.7	-36.6	-26.7	-20.0	-16.6	-26.7	-23.3	-33.3	-20.0	-16.7	-36.6

業界の景況	H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10
製造業	-10.0	-10.0	-6.7	-23.3	-23.3	-20.0	-13.3	-43.4	-46.7	-36.7	-50.0	-43.4	-46.7
非製造業	-23.3	-13.3	-16.7	-30.0	-30.0	-20.0	-26.6	-33.3	-36.7	-26.7	-23.4	-20.0	-40.0

